地域連合 よこはま

2024年　12月24日
第246号
日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横浜地域連合
連絡事務所　〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市技能文化会館 402 号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252
発行責任者　秋山　純一
編集責任者　高橋　直樹・久保田　政宏

横浜地域連合

第34回定期総会を開催！

横浜地域連合は2024年11月27日（水）、ワークピア横浜において「第34回定期総会」を開催した。

挨拶をする秋山議長

冒頭、秋山議長から「元日に能登半島地震が発生し甚大な被害をもたらしました。そのような中、横浜地域連合は様々な活動の中で被災地復興支援や防災・減災に繋がる活動に取り組みました。中でも地域フォーラムとして、あらためて自然災害への備えや意識向上に繋がる活動を展開しました。本年は10月に衆議院議員選挙がありました。これは横浜で働く仲間とご家族が安心して仕事や生活ができるために重要な取り組みでありましたが、各地区連合や構成組織と一体となって取り組み、多くの推薦候補者の勝利を掴むことが出来ました。年間を通して各地区連合や構成組織と連携を深めながら様々な地域連帯活動を展開して参りましたが、各種活動にあたっては行政や関係機関のご協力も得ながら進めることが出来ました。これまでの各種活動にご尽力をいただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。」と、この1年の構成組織と組合員のお力添えに対し、感謝の言葉を述べた。続いて、2025年度の運動方針に対する自身の思いに触れ「1点目は『働くことを軸とする安心社会の実現』については、実質賃金を確保すべく人への投資と月例賃金の持続的な改善等を力強く推進し、雇用と生活のセーフティネットの充実・強化につなげていきます。また、地域活性化の取り組みによりすべての働く仲間を守り、つなぐ活動を展開してまいります。2点目は『必ずそばにいる存在になる』ことについては、労働組合が自分達のために連帯するだけでなく、すべての人々に寄り添って存在することは常に求められていると思います。同じ方向を向いて皆が力を合わせ、コミュニケーションの活性化を図り理解と共感を得ながら、すべての働く仲間や生活者とつながる活動を展開してまいります。3点目は『安全と健康は全てに優先する』ことについては、全ての生活や活動において危険な状態を作らないこと、けがや病気に罹らないことが一番大切であり、このことを常に念頭に置いた活動となるよう取組んでまいります。以上3点を踏まえ、労働運動の原点を再確認し連合神奈川の中心的な地域連合として『人』と『職場』と『地域』を運動の基本にし、高い志を持って社会的使命を果たしてまいります。また、これまでの歴史を大切にし、6地区連合の力を結集して総合生活改善への果敢な取り組み、政策制度要求と提言の充実や、地域連帯活動の更なる推進等も進め、組合員の幸せづくりと明るく元気な横浜づくりに向けて活動してまいります。」と決意を語った。

退任する
福井副議長

退任する
髙橋徹副議長

来賓からは、連合神奈川・阿部事務局長、横浜市・山中市長、かながわ労働センター・八尋所長、立憲民主党神奈川県連・青柳代表、国民民主党神奈川県連・小粥代表、公明党市議団・行田副団長、社民党横浜市連合・森副代表から挨拶を頂戴した。また、立憲民主党と国民民主党の衆議院・参議院議員、県会・市会議員の方々、中央労金神奈川県本部、中央労金鶴見支店、こくみん共済coop神奈川推進本部、神奈川県労福協、横浜労福協、ワークピア横浜からの代表者の方々にもご臨席を賜った。

退任する
奥津会計監査

退任する
加賀谷事務局長

横浜地域連合
第34回定期総会
横浜地域連合
新役員

議事に入り、加賀谷事務局長から2024年度の活動報告のあと、2025年度活動方針が提案され、第1号議案　活動方針（案）、第2号議案　予算（案）、第3議案　役員体制（案）、第4号議案　総会スローガン（案）、第5号議案　総会宣言（案）は満場一致で可決され終了した。

役員体制については、髙橋徹副議長（運輸労連）、福井副議長（自動車総連）、加賀谷事務局長（神教協）、奥津会計監査（私鉄総連）が退任され、新たに鈴木宏彰副議長（自動車総連）、金田副議長（運輸労連）、久保田事務局長（連合神奈川）、御園生会計監査（私鉄総連）が就任した。

最後に秋山議長の発声により、団結ガンバロウを三唱し閉会した。

横浜地域連合五役会役員の交代

役　職	新任役員	退任役員
副　議　長	金田　祥吾	髙橋　徹
副　議　長	鈴木　宏彰	福井　博之
事務局長	久保田政宏	加賀谷　護
会計監査	御園生　誠	奥津　敏之

「横浜地域連合第34回定期総会」来賓出席者・祝電・メッセージ（順不同・敬称略）

来賓参加者一覧

連合神奈川	事務局長	阿部　嘉弘
横浜市	市長	山中　竹春
神奈川県かながわ労働センター	所長	八尋　有造
中央労金神奈川県本部	都県統括部長	永野　功
中央労金鶴見支店	支店長	秋山　浩二
こくみん共済coop 神奈川推進本部	事務局長	四之宮　信賢
〃	部長	敷田　竜一
神奈川県労働者福祉協議会	事務局長	金井　克之
横浜労働者福祉協議会	事務局長	奥山　英一
ワークピア横浜	係長	小渕　歩
立憲民主党神奈川県総支部連合会	代表	青柳　陽一郎
国民民主党神奈川県総支部連合会	代表	小粥　康弘
衆議院議員	1区	篠原　豪
〃	5区	山崎　誠
〃	7区	中谷　一馬
〃	13区	太　栄志
〃	19区	深作　ヘスス
参議院議員		牧山　弘恵
〃		水野　素子
神奈川県議会議員（立憲民主党）		岸部　都
〃		松崎　淳
〃		望月　聖子
〃		須田　幸平
〃		菅原　暉人
〃		古賀　照基
〃		赤野　孝之
〃		首藤　天信
〃		松本　清
横浜市会議員（立憲民主党）		麓　理恵
〃		高田　修平
〃		森　泰隆
〃		風間　麻美
横浜市会議員（国民民主党）		坂本　勝司
〃		二井　久美代
公明党横浜市会議員団	副団長	行田　朝仁
社民党横浜市連合	副代表	森　英夫

メッセージ・祝電一覧

衆議院議員	山崎　誠
衆議院議員	中谷　一馬
横浜市会議員	谷田部　孝一

「ヨコハマwai!wai!フェスタ2024」!

～地域活性化の一環として～

11月9日(土)、横浜地域連合は横浜労福協との共催3年目となる「ヨコハマwai!wai!フェスタ2024」を大通り公園にて開催した。天候にも恵まれ、約3800人の参加者で賑わった。

開会宣言をする秋山議長

連合神奈川の新たな運動方針である「地域活性化に向けた取り組み」を受け、横浜地域連合も具体的な取り組みとして「ヨコハマwai!wai!フェスタ」を横浜労福協との共催で運営することとなり、今回で3年目を迎えた。

当日は気温こそ低めだったものの、日差しもあり絶好のイベント日和となった。出店27団体による模擬店をはじめ、横浜ビー・コルセアーズのチアグループB-ROSEのパフォーマンス、救助犬訓練の模様の紹介などで大きな盛り上がりを見せ、近隣からも多くの家族連れが訪れ、楽しいひと時をすごした。

開会セレモニーでは横浜地域連合議長の秋山運営副委員長が開会宣言を行い、続いて運営委員長の横浜労福協・鐘ヶ江会長が主催者挨拶を行った。横浜地域連合のブースでは、横浜ビー・コルセアーズのスタッフの方にもご参加いただき、ミニフリースローゲームを実施した。子ども用のミニゴールだったが、小さな子どもだけではなく大人の方々も真剣にプレイする姿が大変印象的だった。

また、これ以外にもフェスタの中では横浜地域連合としてフードバンクかながわへ精米10kgを寄贈した。

今回の各出店ブースの売り上げの一部は、鐘ヶ江運営委員長を通じて神奈川新聞厚生文化事業団に福祉支援金として贈られる。

横浜地域連合ブース

挨拶をする鐘ヶ江運営委員長

B−ROSEのチアパフォーマンス

フードバンクへの寄贈

賑わう会場

横浜地域連合 × BCORSAIRS

横浜地域連合は横浜ビー・コルセアーズを応援しています

2025 新春の集い

●日時　2025年1月29日（水） 18：00開会

●会場　横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
5F「日輪」

2025年度　横浜地域連合役員体制

役職	氏名	出身産別
議長	秋山　純一	基幹労連 (三菱重工グループ労働組合連合会 本社・横浜地区本部)
議長代行	的場　信也	全水道 (横浜水道労働組合)
議長代行	鐘ヶ江　博	電機連合 (日立労働組合ソフト支部)
副議長	高橋　直樹	情報労連 (NTT労働組合神奈川県グループ連絡会)
副議長	山口　聖	UAゼンセン (富士シティオ労働組合)
副議長	髙橋　雄二	自治労 (自治労横浜)
副議長	鈴木　光敏	JAM神奈川 (J−TREC労働組合)
副議長	柴田　康光	神教協 (横浜市教職員組合)
副議長	泉水　義次	JP労組 (JP労働組合神奈川県連絡協議会)
副議長	鈴木　宏彰	自動車総連 (日産労働組合横浜支部)
副議長	金田　祥吾	運輸労連 (丸全昭和運輸労働組合)
事務局長	久保田政宏	連合神奈川
事務局次長	武本　英悟	電力総連 (東電労働組合神奈川地区本部)
会計監査	竹下　昭彦	電機連合 (東芝労働組合京浜支部)
会計監査	御園生　誠	私鉄総連 (京浜急行労働組合)

コラム「るーぷ」

事務局次長
武本　英悟

皆さま、こんにちは。電力総連（東京電力労働組合神奈川地区本部）の武本です。本年1月1日に発生した地震により大きな被害を受けた能登半島では、その後の豪雨災害も重なり、今なお不自由な生活を余儀なくされている皆さまがいらっしゃることに心からお見舞いを申し上げるとともに、1日も早い復旧・復興を祈念しております。

この能登半島地震では多くの電力設備も被害を受け、広範囲にわたり停電しました。私たち電力関連産業で働く多くの仲間が、被災地に「灯り」と「温もり」を届けるべく全国各地から被災地の電力設備復旧にかけつけました。これは全国の旧一般電気事業者（電力自由化前の北海道から沖縄までの10電力会社）において、地震や台風などの自然災害による設備被害に対して、応援派遣をできるよう普段から連携・訓練を重ねていることで実現しています。国民の命と暮らしを支える電力の安定供給のため、広域化や頻発する自然災害時の迅速な復旧に日夜懸命な努力を積み重ねています。

また、平常時における電力の安定供給についても休止していた火力発電所を稼働させることや、天候などで変動する太陽光発電と火力発電所や水力発電所の組み合わせを調整するなど、なんとか必要な電力を確保している状況にあります。今後、AIの活用や半導体工場、データセンターの新増設等により電力需要が大幅に増加すると言われておりますが、GX推進と合わせて、引き続き、国民の生活と経済活動の礎となる電力の安定供給に努めてまいりますので横浜地域連合に集う皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

column "Loop"